

海外にお侍さん発見っ!! ~4人目のお父さんっ!!~

Chris-san 様より

コメント

Good morning Takako-san, Musume-san,
Thank you for the record-fast shipping,
the fine price on the equally fine Koshirae.
Now you have another Dad!!!!
Gassho to you, Otosan



刀の刀装具を直している、お侍さんからお手紙頂きました。5年ほど前から、メールのやり取りをしてきたChris-sanから前回のニューズレターの記事を見て、「娘さんっ! 私もきみのお父さんだ」と言ってくれました。

突然のことでびっくりしましたが、いつも楽しい会話をしてくれているChris-sanからだったので、本当に嬉しかったです。私に、なんと4人目のお父さんができましたっ!! そんなお父さんは、17歳の時に奈良を訪れて以来、日本の文化の虜になったそうです。空手・居合道、中でも奈良のお寺のインパクトが強く、母国に戻ってから、座禅の訓練をし始めたそうです。浮世絵や茶道・生け花、日本の造園、俳句も大好きだそうです。そして、「外人俳句」と言って、私に送ってくれました。



" Infant sun a summer's dawn.

愛しい子 夏の夜明けに

Old bones warm and content... the ecstasy of coffee and birdsong."

小鳥の囀りとコーヒーの香りが、くたびれたカラダにたまらなく心地よく感じる

素敵な俳句をありがとうございます!

これからも、日本の侍(大和)魂を高めていって下さい!!

私も、どんどん高めていきますっ!!!

新春お年玉プレゼント 当選発表!!

2月号掲載「新春お年玉プレゼントクイズ」での問題。ボールはボールでも、四角いボールってどんなボール? 正解は、**段ボール**でした。(難しかったですか?) 抽選により「大和魂」からは...



さっ、更に今年ももう一点!!

EPSON カラリオ プリンター複合機が 当たりました!!

サイクロン式スティックタイプ ハンディクリーナーも 当たりました!!

当選したのは... 愛知県の「黒帽様」です。

当選したのは... 京都府の「HOKIMASA様」です

おめでとうございます~おめでとうございます!! 近目にお届け致します。

今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしお寄せください お待ちしております

件名:ニューズレター返信と入力して送信して下さい。



最新情報は こちらから

ホームページ <http://daimyou.com/>

有限会社

大名

広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp

TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

届けますっ! 大和魂 2017年4月 Vol.17

—経営理念—

有限会社大名は「届けますっ大和魂!」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

- 目次—
- 1 桜餅を作ってみましたっ!
島谷(またに)さん
 - 2 語ります大和魂
中堀(なかほり)さん
 - 3 ハナエモンのタ〜イムスリップ
花本(はなもと)さん
 - 4 海外にお侍さん発見っ!!
島谷(しまたに)さん
 - 5 新春お年玉プレゼント
当選者発表!!
中堀(なかほり)さん

桜餅を作ってみましたっ!

こんにちは、島谷貴子です。春といえば、卒業式・入学式の時期ですが、今年は二番目の娘がなんとっ! 小学校へ入学します。ちゃんと学校へ行って先生の話を聞けるか等、母として心配事がいっぱいです...。そしてもう一つ春といえば「桜」なので、今回は「桜餅」を作ってみましたっ! 子供たちだけでも簡単にできるようにと思い、餡子を皮で包む方法(関東風)で作ってみました。



1 計ります。 2 水を少しづつ入れながら混ぜていきます。 3 次に餡子の形を整えます。 4 白い粉に...桜の色になるように食紅を入れます。



5 フライパンで生地を焼いていきます。 6 ピンクの生地ができましたっ!! 7 餡子を生地で包んで上手にできましたっ! 8 試食っ!!! 9 みんなで完成っ!!! 10 いただきます!

美味しくってあっという間になくなってしまいました。いつもは、喧嘩が耐えない3姉妹ですが、仲良く作ることができて本当によかったと思いました。次女が、しっかり長女の話を聞きながらできていたので、入学しても先生の話をちゃんと聞くことが、出来るだろうと安心しました。桜餅ってこんなだったかなと思われた方もいらっしゃると思うので、簡単に説明を。今回作ってみたのは、関東地域の桜餅です。(桜の葉が売ってなくて、餡子を包んだだけになりましたが...) 私が住んでいる、関西の地域では...粗挽きにして



蒸したもち米で餡子を包んだ、お饅頭のようなお餅です。地域によって、形や材料も違って面白いですよ。貴方は、どちらの桜餅が好きですか? 今度は、関西風の桜餅を作って、食べ比べをしてみたいと思います。



こんにちは。中堀明美です。
 皆様、春と聞けば何を連想しますか？
 やっぱ、春と言えばお花見ですね！？
 私は花より団子…いや、花よりお酒でございます。
 毎年、当社でもしていますが…いつから日本人は
 お花見をするようになったのでしょうか？

語ります
大和魂

お花見といえば梅だった!?

奈良時代、中国から梅が伝わり香りが良いと、大事にされていました。
 貴族たちが花を觀賞しながら「歌を詠む会」を
 始めた事が、お花見の原型になったとされています。
 お花見が桜の花で定着したのは、平安時代の嵯峨天皇(786年)が神社
 の桜を見て大変気に入り、定例行事となってからと言われています。



お花見は偉人とも深い関係が!?

**派手将軍!!
 豊臣秀吉 編**

**よしの
 ~吉野のお花見(奈良県)~**

1594年に5000人もの人を集め開催
 されました。中には徳川家康、前田利家、伊達政宗と
 いった、当時の有力な武将も多く呼ばれていました。
 しかも、各武将は変装するなど、現代でいうコスプレを
 楽しみ大はしゃぎしたそうです。
 天下人の秀吉ですが、この日だけは上下関係など無く、
 お花見を一緒に楽しんだそうです。生まれが農民だっ
 た秀吉だったからこそ、出来たのかもしれないね。



豊臣秀吉

徳川家康

**だいご
 ~醍醐のお花見(京都)~**



1598年、女性を中心に1300人を招き開催しました。
 これには、秀吉のある狙いがありました。当時、朝鮮出兵で苦戦をして
 いた豊臣政権。体力的にも精神的にも不安定で、重苦しい雰囲気
 を吹き飛ばす思いと、招待した女性達に、2度の衣装替えを命じ、
 経済的にもまだまだ余裕がある事を世間に知らしめ、
 政権の安定を図ったと言われてます。

現代のように、桜を見ながらお酒を呑む形を作ったのは、秀吉と言われています。

**庶民の味方!!
 徳川吉宗 編**

1720年、浅草(墨田川)などに沢山の桜の木を植え、
 庶民達がお花見を楽しむ場所を提供しました。
 農村に桜の植樹を広め、東京の桜の見どころの基礎
 を築いたとされています。

観光地化をし、庶民の収入を増やしたり娯楽へと繋げていきました。
 一般庶民にお花見を広げたのは吉宗なのでしょうね。



徳川吉宗

お花見の歴史に、武将達が関わっている事に驚きました。
 パツと花を咲かせ、いさぎよく散っていく桜は、戦国武士の生き方のようにも感じました。
 そんな武将達に想いを馳せながら、今年のお花見も楽しみたいと思います。
 皆様は、お花見の楽しい話や失敗談などのエピソードがありますか？
 もしよろしければ、是非ともお聞かせ下さい。ご連絡お待ちしております!!



**ハナエモンの
 タ〜イムスリップ**

こんにちは!いかがお過ごしでしょうか!?
 前号に引き続き、歴代の天下人がハナエモンと同じ33歳だった頃に、
 タ〜イムスリップ!

歴代の天下人編

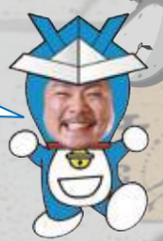


1 鳴かぬなら殺してしまえホトトギス
 時は戦国時代、西暦1567年…
 信長「天下平定して、戦のない時代にするぞー!!!」



あわりのくに 尾張国(愛知県西部)、みのくに 美濃国(岐阜県南部)の2ヶ国を領土にした信長は、
 この頃から「天下布武」の朱印を使い始めたそうです。
 武力で天下をとるという意味ではなく、戦いをやめるという意味だそうです。

戦のない時代を!と熱い志をもちはじめたのが、33歳の時です。1573年に將軍・足利義昭を
 追放し、室町幕府を滅亡させ、戦国時代終焉の道筋をつけたのは、39歳の時です。



2 鳴かぬなら鳴かせてみせようホトトギス



時は戦国時代、西暦1570年… 場所は金ヶ崎…
 秀吉「命に代えても信長様を助けるのじゃー!!!」 信長「猿…頼むぞ…」



えちぜんのに 越前国(福井県嶺北地方)の朝倉義景討伐に向かった織田軍を浅井長政が
 裏切り、朝倉軍と挟み撃ちに、信長絶対絶命の危機!敵の追撃を防ぎ、
 本体の後退を援護する一番危険な役目をこなすのが、殿。

その役目を引き受け、信長を逃がし、命からがら脱出した秀吉。
 評価を一気に上げ、重臣になっていくきっかけになったこの戦いが金ヶ崎の退き口、秀吉33歳の時
 でした。1590年、北条家を滅ぼし、天下統一をしたのは、53歳の時です。



3 鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス



時は戦国時代、西暦1575年…
 家康「あの恐ろしい武田軍に勝利したぞー!!!」



織田、徳川連合軍は長篠(愛知県)において、最新兵器の火縄銃の大量使用
 で戦国時代最強と恐れられた、武田の騎馬隊に勝利しました。
 この長篠の戦いが行われたのが、家康32歳の時…。33歳ではありませんが…。

信長、秀吉の死後、天下を取り、1603年に徳川幕府を開いたのは、59歳の時です。



前号、今号で6人の天下人の33歳にタ〜イムスリップしました。
 30代というのは、人生のターニングポイントになるコトがあるのかもしれま
 せんね。33歳で天下泰平をイメージして、実行しようとした信長のように、
 僕も将来の自分をイメージして、そうなるべくしっかり実行していきます!

